

複数施設研究用

研究課題「腸管リンパ腫における臨床病理学的検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2010 年 1 月 1 日～2024 年 6 月 30 日に当院および下記の既存試料・情報の提供のみを行う機関にて腸管リンパ腫と診断された方

研究参加施設：愛知県がんセンター病院、安城更生病院、一宮市立市民病院、大垣市民病院、岡崎市民病院、公立陶生病院、江南厚生病院、トヨタ記念病院、豊田厚生病院、豊橋市民病院、名古屋医療センター、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、藤田医科大学病院、愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院、浜松医科大学医学部附属病院

2. 研究目的・方法・研究期間

腸管リンパ腫における組織学分類の内訳とその予後を明らかにし、臨床病理学的予後因子を明らかにすることを目的としています。2010 年 1 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日までに、名古屋大学医学部附属病院または既存試料・情報の提供のみを行う機関における病理組織にて腸管リンパ腫と診断された症例の病理組織切片と臨床情報を多施設共同で集めます。集める組織切片は診療の一環としてすでに実施されたもののみのみで、免疫組織化学染色、in situ hybridization の手法を用いた EB ウイルス発現、fluorescence in situ hybridization (FISH) による染色体転座、PCR 法による免疫グロブリン遺伝子の再構成、遺伝子発現解析、遺伝子変異の有無（がん細胞でおきている遺伝子変異を調べますが、個人の特定につながるような生まれつき持っている遺伝子情報は調べません）を必要に応じて解析します。これらの臨床病理学的な特徴と予後との関連について統計学的に解析、検討します。最終的には 580 症例前後の検討を予定しています。研究期間は実施承認日から 2030 年 3 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、内視鏡検査結果、放射線画像結果、治療内容、治療効果等

試料：内視鏡により生検や手術で摘出した組織等

4. 外部への試料・情報の提供

個人情報には匿名化を行い保護します。対応表を作成し、データの提供は郵送で行い、特定の関係者以外が見ることができない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

愛知県がんセンター病院	内視鏡部	田近正洋
安城更生病院	消化器内科	石原誠
一宮市立市民病院	消化器内科	松浦倫三郎
大垣市民病院	消化器内科	久永康宏
岡崎市民病院	消化器内科	山田弘志
公立陶生病院	消化器内科	竹中宏之
江南厚生病院	消化器内科	佐々木洋治
トヨタ記念病院	消化器内科	鈴木貴久
豊田厚生病院	消化器内科	内田元太
豊橋市民病院	消化器内科	山田雅弘
名古屋医療センター	消化器内科	齋藤雅之
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	消化器内科	春田純一
藤田医科大学病院	消化器内科	船坂好平
愛知医科大学病院	消化器内科	山口純治
岐阜大学医学部附属病院	地域腫瘍学	大西祥代
浜松医科大学医学部附属病院	消化器内科	山出美穂子
山下病院	消化器内科	松崎一平

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岐阜大学医学部医学系研究科 地域腫瘍学

電話番号：058-230-7535

研究責任者氏名：大西 祥代